中学２年　国語科　教材別テスト⑥　「字のない葉書」

教材別リメイク版　中学２年　国語　／　「字のない葉書」（向田邦子・光村図書『国語２』）　／　漢字・語句・助詞

２年　　組　　番　　氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【注意事項】

- 問題は「一」から「四」（Ｐ．１～Ｐ．４）までです。全６ページです。
- 大問四は、**教科書『国語２』（光村図書）の「字のない葉書」を開いて**解答しなさい。
- 解答は、解答用紙（Ｐ．５～Ｐ．６）の適切な欄に、読みやすい楷書で書きましょう。
- 句読点などの符号も一字と数えます。

知識・技能　（５０点）

一　次の――線部について、漢字はその読みをひらがなに直し、ひらがなは漢字に直して書きなさい。ただし、**送りがなが必要な場合**（⑦⑧⑨⑩⑰⑱⑲⑳）は、必ず送りがなまで書くこと。　１点×20＝20点

① 田舎へ疎開する。
② 威厳のある声。
③ 父の筆跡。
④ 歴史上の暴君。
⑤ 机を丁寧にふく。
⑥ 封筒の宛名。
⑦ 妹を抱きしめる。
⑧ 国力が衰える。
⑨ 慌てて外へ出る。
⑩ 懐かしい思い出。
⑪ えんりょがちに話す。
⑫ ゆうびんで送る。
⑬ 父とのやくそく。
⑭ 重いにもつ。
⑮ けんこうに気をつける。
⑯ なみだをこらえる。
⑰ きびしい寒さ。
⑱ 駅で妹をむかえる。
⑲ 便りがとどく。
⑳ おさない子ども。

二　次の問いに答えなさい。　2点×7＝14点

(1)「威厳」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　近寄りがたいほど、おごそかで重々しい感じ。　イ　力まかせに人をおさえつけること。

ウ　他人をうらやみ、ねたむ気持ち。　エ　自分をいつわって、かざり立てること。

(2)「他人行儀」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　よその家の作法をまねること。　イ　親しい間がらなのに、よそよそしく、他人のようにふるまうこと。

ウ　他人のために、自分の望みをおさえること。　エ　人に会うのをいやがって、家に閉じこもること。

(3)「息をのむ」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　息を止めて、じっと我慢すること。　イ　おどろきや感動のあまり、思わず息を止めること。

ウ　深く息を吸ってから話し出すこと。　エ　疲れて息が切れること。

(4)「目を細める」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　遠くを見ようとして、じっと見つめること。　イ　うれしさやかわいさのあまり、思わずにこやかな顔になること。

ウ　あやしいと思って、うたがいの目で見ること。　エ　眠くなって、まぶたを閉じること。

(5)「出発」の**対義語**を、漢字二字で書きなさい。

(6)「永久」の**類義語**を、漢字二字で書きなさい。

(7)「無事」と熟語の組み立てが同じものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　不安　イ　読書　ウ　高低　エ　白線

三　助詞のはたらきについて、次の問いに答えなさい。　2点×8＝16点

A　次の――線部の助詞の**種類**を、後の語群から一つずつ選び、記号で答えなさい。(同じ記号は二度使いません。)

(1) もう泣かないよ。

(2) 妹は、父に葉書を渡された。

(3) 雨が降ったので、出発が延びた。

(4) はがきには、大きな丸ばかり書いてあった。

ア　格助詞　イ　接続助詞　ウ　副助詞　エ　終助詞

B　次の――線部の助詞の**意味・用法**として最も適切なものを、後の語群から一つずつ選び、記号で答えなさい。

(5) これは、父の書いた葉書だ。

(6) 朝は寒かったが、出かけた。

(7) 弟と二人で駅まで歩いた。

(8) 太い筆で大きな丸を書く。

ア　主語を示す　　イ　連体修飾語を示す　　ウ　逆接を表す　　エ　動作を共にする相手を示す オ　引用（言葉の内容）を示す　　カ　手段・方法を示す　　キ　場所を示す　　ク　原因・理由を示す

思考・判断・表現　（５０点）

四　教科書『国語２』（光村図書）の「字のない葉書」を開いて、後の問いに答えなさい。　50点

（１）この作品は、筆者が自分の体験や家族の思い出を、感じたままに書いた文章である。このような文章のジャンルとして最もふさわしいものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。３点

ア　小説　　イ　随筆　　ウ　詩　　エ　戯曲

（２）作品の初めの部分で、父が「私」に宛てて送ってよこした手紙は、どのような文面だったか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。４点

ア　誤字が多く、書きなぐったような、乱れた文面。

イ　他人に出すような丁寧な言葉で書かれ、威厳が感じられる文面。

ウ　冗談まじりで、くだけた、親しみやすい文面。

エ　伝える用件だけを並べた、短くそっけない文面。

（３）（２）の手紙の文面と、家庭での父の様子とを合わせて読むと、父のどのような人物像が読み取れるか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。４点

ア　子どもに関心がなく、形だけ手紙を書いてすませる人物。

イ　ふだんは荒々しくふるまうが、子どもたちへの深い愛情をもっている人物。

ウ　他人の前でだけおとなしくふるまう、臆病な人物。

エ　「私」だけを特別にかわいがる、えこひいきの激しい人物。

（４）父は、妹を疎開先へ送り出すとき、葉書を持たせ、毎日一枚ずつ出すように言いつけている。父がこのような方法をとったのはなぜか。**二十字以上三十字以内**で、「**～ため。**」の形で書きなさい。４点

（５）疎開して間もないころに来た、はがき一面に書かれた大きな丸は、妹のどのような様子を表していると考えられるか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。３点

ア　妹が、疎開先で元気よく過ごしていること。　　イ　妹が、疎開先の生活にすっかり満足して、帰りたがらなくなったこと。

ウ　妹が、すぐに家へ帰りたがっていること。　　エ　妹が、父の言いつけを忘れてしまったこと。

（６）妹から来る葉書に書かれた印は、日がたつにつれて次々と変わっていき、やがて葉書そのものが来なくなった。この変化は、どのようなことを表しているか。**二十五字以上三十五字以内**で、「**～こと。**」の形で書きなさい。５点

四　（つづき）

（7）家族が疎開先へ妹を引き取りに行った日の妹の姿は、どのようなものだったか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［3点］

ア　思いがけず元気いっぱいで、家族をおどろかせた。

イ　げっそりとやつれ、見るからに痛々しい姿になっていた。

ウ　友達と別れるのがつらくて、帰るのをいやがった。

エ　字が上手に書けるようになり、得意そうにしていた。

（8）ふだんは人前で泣くことのない父が、帰ってきた妹を抱きしめて声を上げて泣いたのは、どのような気持ちからか。**三十字以上四十字以内**で、「**〜という気持ち。**」の形で書きなさい。［6点］

（9）「字のない葉書」という題名は、どのようなことを象徴しているか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［4点］

ア　字を美しく書くことは難しい、ということ。

イ　言葉を持たない幼い妹と家族が、つらい時代の中で、かろうじて結ばれていたつながり。

ウ　手紙よりも電話のほうが便利である、ということ。

エ　父の字がくせが強く、読みにくかった、ということ。

（10）この作品が、大人になった語り手が過去をふり返る**回想**の形で書かれていることの効果として、あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。［3点］

ア　出来事を起こった順に、記録のように正確に並べられる。

イ　大人になった筆者の目から、当時は気づけなかった父の思いや戦争の重さを、静かに見つめ直すことができる。

ウ　読者に、物語の続きを自由に想像させることができる。

エ　会話を多くして、場面を明るくにぎやかにできる。

（11）本文の内容にあてはまるものを**全て**選び、記号で答えなさい。【完答】［4点］

ア　父は、ふだんから筆まめで、よく手紙を書く人であった。

イ　父は、妹が疎開先にいる間、毎週欠かさず妹に手紙を書き送っていた。

ウ　妹が疎開先から出す葉書には、あらかじめ自分の家の宛名が書いてあった。

エ　妹から来る葉書の丸は、日がたつにつれて小さくなっていった。

オ　「私」は、妹が疎開先から出した葉書を、一枚も見たことがなかった。

（12）この作品から、戦争は家族に何を強いたと考えられるか。あなたの考えを**四十字以上五十字以内**で書きなさい。［7点］

解答用紙①　知識・技能

教材別リメイク版　中学２年　国語　／　教材別テスト⑥「字のない葉書」

２年　　組　　番　　氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

知識・技能　小計

一　漢字 （１点×20）	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬		⑭	
	⑮		⑯	

一（つづき）	⑰		⑱	
	⑲		⑳	

二　語句の知識 （２点×７）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)			

三　助詞の はたらき （２点×８）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)		(8)	

※　三のA（1）～（4）は助詞の**種類**、B（5）～（8）は助詞の**意味・用法**を、それぞれの語群の記号で答えます。

解答用紙②　思考・判断・表現

教材別リメイク版　中学２年　国語　／　教材別テスト⑥「字のない葉書」

２年	組	番	氏名	

思考・判断・表現 小計	合計（100点満点）

四 「字のない葉書」の読解（50点）	(1)		(2)	
	(3)			
	(4)			
	(5)			
	(6)			
	(7)			
	(8)			
	(9)		(10)	
	(11)			
	(12)			

※　記述問題は、解答欄におさまるように、読みやすい字で書きなさい。句読点も一字と数えます。
（４）＝20～30字「～ため。」／（６）＝25～35字「～こと。」／（８）＝30～40字「～という気持ち。」／（12）＝40～50字。
（11）は【完答】です。あてはまる記号を全て書きなさい。